

2023年度 実施事業の概要

1

生産性向上・合理化推進事業

本事業では、現場力を高める管理・改善の実践手法から、製品設計、生産技術、切削などの加工技術、機械の保全や環境技術にいたるまで、対象を細分化し、幅広いテーマを設定。技術水準の高度化、製造・技術人材の育成に注力した。

1-1 生産管理実務研修

概要	売れるものを売れる時期に売れるだけつくるというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶものとした。	
実施内容	「Excelを使った原価計算のやり方」、「在庫の現品管理基礎セミナー」、「工程管理の基礎知識」、「Excel 在庫管理表 作り方、使い方」、「小日程計画の立て方」、「調達購買力強化研修」など	
	開催件数	36 回（うちオンライン開催 10 回）

1-2 品質管理実務研修

概要	品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶものとした。	
実施内容	「品質検査の実務」、「ISO9001 内部監査員養成講座」、「部下のボカミス 減らすためのアプローチ」、「品質トラブル 未然防止の具体策」、「外観目視検査 正しい進め方とレベル向上策」など	
	開催件数	53 回（うちオンライン開催 17 回）

1-3 現場改善実務研修

概要	人の動き、作業の手待ち、設備のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶものとした。	
実施内容	「5S 活動の基本と実践」、「工場 少人化の実践」、「作業エリアのレイアウト改善」、「トラック輸送の効率化」、「物流(倉庫)作業 標準化への挑戦」、「工場の収益改善」など	
	開催件数	41 回（うちオンライン開催 10 回）

1-4 工業技術セミナー

概要	機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげた。	
実施内容	「電気系トラブルの診断方法」、「電力コストの削減策」、「機械加工技術(切削、研削など)」、「電気・電子回路図の正しい読み方」、「金属材料の基礎知識」、「機械設備の日常保全」など	
	開催件数	61 回（うちオンライン開催 24 回）

1-5 設計実務研修

概要	設計は製品の品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。JIS 規格に準じた図面の描き方、設計変更、強度設計などさまざまなテーマを取りあげた。	
実施内容	「図面の基礎(描き方、寸法公差)」、「コストを意識した部品設計」、「図面チェックの進め方」、「設計ミスの再発防止」、「ねじの基礎と締結のメカニズム」、「回路設計技術者 養成講座」など	
	開催件数	42 回（うちオンライン開催 12 回）

1－6 技能開発訓練		
概要	知識を習得するだけでなく、実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業との提携や、実習機材を用いるなどして技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図った。	
実施内容	「電気の基礎」、「空気圧技術 実践研修」、「ラズベリーパイを使った IoT ツール制作」、「シーケンス制御実践セミナー」 など	
	開催件数	21 回

1－7 工場管理実務研修		
概要	工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修を実施。幅広い知識を学ぶことで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「クリーンルーム 作業員のレベル向上策」、「新人への OJT 指導力強化研修」、「工場長の視座と経営革新の指揮」、「安全衛生委員会 活性化のポイント」、「機械設備のオーバーホール」など	
	開催件数	33 回（うちオンライン開催 8 回）

1－8 中期・長期講座		
概要	主に製造・設計・品質管理などの技術部門の方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学んでいくなど体系的に構成されたプログラムで実務力の向上を図った。	
実施内容	「現場改善 実践研修コース」、「生産管理 基礎講座」、「品質管理 実務研修」、「機械設計技術 基礎講座」、「機械・設備保全基礎力強化コース」など	
	開催件数	177 回（うちオンライン開催 76 回）

1－9 環境関連資格取得推進講座		
概要	国家資格の取得を目指す方のための試験対策講座。環境関連資格に特化し、公害防止管理者の試験対策講座を開催した。	
実施内容	「水質関係第 1 種 公害防止管理者試験対策講座」	
	開催件数	1 回（うちオンライン開催 1 回）

2

経営革新・マネジメント力強化事業

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報を提供することで人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

2－1 人事管理実務研修		
概要	労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげた。	
実施内容	「労働法の基本」、「人事制度設計 基本と見直しポイント」、「中途採用の進め方」、「社会保険手続」 など	
	開催件数	19 回（うちオンライン開催 3 回）

2-2 営業強化実務研修

概要	基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力、管理職として営業組織を率いるマネジメントスキルなど、それぞれの立場に応じた実践力を習得する研修を開催した。	
実施内容	「営業トークの基本と実践」、「商談・販促ツール」、「与信管理」、「ChatGPT で営業活動の効率化」など	
	開催件数	32 回（うちオンライン開催 12 回）

2-3 国際ビジネス実務研修

概要	事業のグローバル展開に必須の知識・ノウハウを解説。貿易業務や海外調達に携わる方を対象としたテーマでセミナーを開催した。	
実施内容	「輸出入通関手続きの基本」、「中国ビジネスにおけるトラブル事例と対応策」	
	開催件数	3 回（うちオンライン開催 1 回）

2-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導した。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」、「若手リーダー研修」など	
	開催件数	62 回（うちオンライン開催 18 回）

2-5 業務・職務実践力向上研修

概要	労働生産性の向上は直接部門だけの問題ではなく、今後は間接部門でも取り組むべき課題である。総務部門や経理部門など、ホワイトカラー向けの実務研修を開催した。	
実施内容	「社内調整力」、「後輩指導のやり方」、「指示の出し方・報告の受け方」など	
	開催件数	82 回（うちオンライン開催 28 回）

2-6 経営管理実務研修

概要	経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取りあげた研修を開催した。	
実施内容	「決算書の読み方」、「経理担当者の基礎実務」、「英文契約書の基礎知識」、「下請法の知識」など	
	開催件数	38 回（うちオンライン開催 9 回）

2-7 中期・長期講座

概要	主にホワイトカラーの方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学ぶ中長期の研修を実施。体系的に構成したプログラムで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「はじめて学ぶ経理の仕事」、「人事労務管理基礎コース」、「営業社員基礎力強化 6 ステップ」など	
	開催件数	53 回（うちオンライン開催 37 回）

3

大会・フォーラム事業

ビジネス環境変化が激しい昨今、経営組織の革新や人材力の底上げが急務である。そのための情報・ヒントを得ていただく講演会を開催。情報収集とあわせ異業種・異分野の多彩な企業の相互理解を促すことを目的に、大会事業を実施した。

3-1 経営セミナー

概要	経営者・経営幹部を対象として開催する「経営セミナー」。複数名の講演者を迎え、成功や失敗などそれぞれの経験を通して培った原理原則などを共有いただくことで、事業活動におけるヒントを提供した。
開催件数	1回

3-2 工場長大会

概要	工場長・工場幹部を対象として開催する「工場長大会」。講演者には独自の経験やノウハウを持つ工場長や製造部門長を招き、工場運営に関する要諦をさまざまな切り口から紹介いただくことで、自社における活動のヒントを得ていただいた。
開催件数	1回

3-3 営業マン大会

概要	すべての営業パーソンを対象として開催する「第一線営業マン大会」。優秀な営業マンに共通する考え方や行動ノウハウを知ること、自身の営業活動を見直し、改善するきっかけとしていただいた。
開催件数	1回

3-4 現場リーダー大会

概要	製造業の現場のリーダークラスを対象とした大会。チームづくりや人づくり、改善活動など、製造現場に必要とされる幅広いテーマについて、考え、行動につなげていただくための場として開催した。
開催件数	1回

4

経営交流・会員交流推進事業

当協会は約1,470社からなる会員組織を有し、大企業から小規模企業まで、また機械、金属、電機、化学、食品、あるいは卸売業といったように、規模や業種の異なる多様な事業所が参画していることが大きな特色である。こうした会員事業所間の有機的な連携と協調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開した。

4-1 大阪府工業技術大学講座

(後援/大阪府)

概要	1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行った。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部に準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせた。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第63期として実施した。	
実施内容	座学:「材料力学」、「金属材料」、「生産加工技術」、「機械計測」など28科目 実習:「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など8科目中2科目を選択受講 見学:ダイキン工業㈱、(株)西島製作所、(株)東研サーモテック など8工場	
	開催期間	4月～2024年3月

4-2 新入社員教育講座

概要	新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を学ばせる研修、規律や礼儀を体得させる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「製造社員」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」 など	
	開催件数	30 回（うちオンライン開催 11 回）

4-3 経営力強化研究会

概要	変化の激しい時代には、自身の目と耳で的確な情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供した。	
実施内容	「最新自動車テクノロジー研究会」 （ハイブリッド形式） 自動車業界のトレンドである「電動化」「自動運転」「軽量化」といった技術革新の潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望について情報を収集する場として、自動車メーカーや大手部品メーカーによる講演を実施した。	
	開催期間	6 月～11 月
	「広報活動実践研究会」 （ハイブリッド形式） 中小企業のブランド力や認知度の向上は、社員の働きがいや採用力の強化につながる重要な戦略のひとつである。この研究会では、広報に携わる担当者を対象に、成功している企業の事例から、自社で取り組むヒントを得ていただき、多様な手法で自社の価値を伝える手法を考えた。	
	開催期間	6 月～11 月
	「知的財産研究会」 （ハイブリッド形式） 企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフを対象に全 10 回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考える。テーマは、昨今関心の高い特許出願と秘匿主義の使い分け、グローバル知財戦略などを取りあげた。	
	開催期間	6 月～2024 年 3 月
	「経営実践研究会」 （集合型） 経営に関する悩みは、人・もの・金それぞれ多岐にわたり、尽きることはない。この研究会では、若手経営者や後継経営者を対象に、毎回異なる切り口から自社の経営を見つめ直す機会を提供し、経営について実践的に考える場とした。	
	開催期間	7 月～2024 年 2 月
	「RPA 導入事例研究会」 （集合型） ホワイトカラーの生産性をいかに引き上げるかに関心が集まるなか、事務作業の効率化を図る手段として注目される RPA（Robotic Process Automation）。RPA で何ができるのか、導入前に検討することは何か、さまざまな情報を提供した。	
	開催期間	9 月～2024 年 1 月
	「次世代の工場 最新技術研究会」 （集合型） ものづくりは、世界的に大きな変革の時を迎えている。新しい生産方式が登場し、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場の IT 化・IoT 化、ロボット活用などの事例を紹介した。	
	開催期間	10 月～2024 年 3 月
	「AI（人工知能）研究会」 （ハイブリッド形式） 新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）の実用化による解決に大きな期待が寄せられている。AI で何が変わり、何ができるのかという事例を幅広く紹介することで、工場はもとより企業全体での AI 活用に向けたヒントを提供した。	
	開催期間	11 月～2024 年 3 月

	「プロダクトデザイン研究会」 （ハイブリッド形式） 製品開発の現場において重要性を増しつつあるプロダクトデザイン。本研究会は製品設計・製品企画・開発部門の方を対象として、魅力ある製品デザインについて学ぶ場である。新製品開発などに活用できる工業デザインの基本や手法を、実例をもとに情報提供した。	
	開催期間	11月～2024年3月

4-4 現場力強化研究会

概要	日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追求める必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催した。	
実施内容	「工場経営研究会」 （集合型） ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一堂に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図る。企業規模や事業内容が違って、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全18回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成まで幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めていた。	
	開催期間	4月～2024年3月
	「製造部門人材育成研究会」 （ハイブリッド形式） 製造部門における人材の育成や定着は、どの企業においても共通の課題といえる。確固たる正解がないなかで、育成計画や教え方、モチベーション向上策などの取り組みを、具体的な事例をもとに多面的に学ぶことにより、現場の人材育成について考える場を提供した。	
	開催期間	8月～2024年1月
	「生産支援ロボット導入研究会」 （ハイブリッド形式） 危険作業や重労働の作業改善ツールとして、労働人口減少に対応するため、生産現場での生産支援ロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットや無人搬送ロボット、ピッキングロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などをテーマに研究会を開催した。	
	開催期間	9月～2024年3月
	「品質検査効率化研究会」 （ハイブリッド形式） 製造現場に欠かせない品質検査。コストダウンや品質向上実現のためには、品質検査業務をより効率化することは必須といえる。本研究会では、検査の無駄の削減、さらなる生産性向上のための効率的な品質検査事例や、それを実現するための情報を提供した。	
	開催期間	9月～2024年3月
	「簡易自動化研究会」 （集合型） 最先端技術の採用ではなく現場の地道な工夫・改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽でかつ大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた。重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサといった動力や簡単な制御機器を活用して絶大な効果をあげた具体的な事例を紹介し、工場の体質強化に寄与した。	
	開催期間	10月～2024年3月

4-5 新技術研究会

概要	需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場や、オンリーワン技術で強みを発揮する工場、海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場など、国内生産で強い競争力を持つ工場はまだまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収した。	
	開催件数	7回

4-6 展示商談会

概要	会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」。 2023年度は、ダイキン工業㈱の3つの事業所で実施した。	
	開催件数	3回

4-7 国内工場見学研修

概要	異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えた。三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができた。 2023年度は、コベルコ建機㈱、マツダ㈱、㈱デンソー九州を訪問した。	
	開催件数	1コース

4-8 海外産業視察研修

概要	日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を掴んだ。 2023年度は、インドに訪問し、日系企業の現地工場を5箇所訪問した。	
	開催件数	1コース

4-9 講師派遣・通信教育

概要	所在地が遠方である等の理由により集合型への参加が難しい企業、また対象人数が多いため自社でのセミナー開催を望む企業に対し、講師を派遣する形で対応。既存のプログラムにとどまらず、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師との調整までをサポートした。また、セミナー参加以外の学びの形として、通信教育講座を開講し、自己啓発を支援した。	
	社内研修の支援(講師派遣)	計24回実施
	通信教育講座	257コース開催

4-10 オンデマンド研修講座

概要	事前に録画した専門性の高い動画コンテンツを提供する研修。いつでも、どこからでも協会サイトにアクセスして研修動画を視聴することが可能であり、テーマを何度も見返し、繰り返し復習することが可能である。セミナー受講が難しい環境や、すきま時間を活用して研修受講したい方などの多様な研修ニーズに応えた。	
	開催件数	6コース

4-11 機関誌 商工振興刊行

概要	会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。会員企業の情報を発信する誌面をつくることを目指し、「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「社長の Recommend」「関西企業ヒストリア」といった記事を掲載。また、顧客への手土産選定に役立つ「バイヤーおすすめ 季節のお菓子」や、部下やZ世代との接し方を問い直す「叱りの達人が説く、リーダーシップの極意」など、さまざまな観点から読みごたえのある内容で年間通しての連載記事も掲載した。(毎月1日発行 全12冊)
----	--

4－12 優良従業員表彰

概要	会員事業所における従業員の勤労意識増進を図るため、1962 年より毎年実施。永年勤続かつ他の模範であるとして事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰状の授与、ならびに祝賀会を行った。(115 事業所から推薦された 215 名が受賞)	
	開催日	2023 年 11 月 27 日

4－13 経営者・経営幹部交流会

概要	経営者や経営幹部の相互交流の場として、新年賀交歓会やゴルフコンペなどを開催。肩ひじ張らない自由な雰囲気の中で、会員同士の相互理解、親睦を深めた。また、若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」を開催した。	
	開催件数	8 回

4－14 経営指導・情報提供

概要	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、従業員の自己啓発・自主活動に対しては、研修用 DVD 教材の貸し出し等により対応した。	
----	---	--